



平成22年11月10日

各位

上場会社名 ホシザキ電機株式会社  
 代表者 代表取締役社長 坂本 精志  
 (コード番号 6465)  
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己  
 (TEL 0562-96-1320)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	165,300	11,000	11,900	7,400	102.70
今回発表予想(B)	168,200	12,400	12,100	7,700	106.87
増減額(B-A)	2,900	1,400	200	300	
増減率(%)	1.8	12.7	1.7	4.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	160,291	8,738	9,455	4,896	67.96

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,500	5,300	6,000	3,900	54.13
今回発表予想(B)	54,500	5,850	6,000	3,900	54.13
増減額(B-A)	1,000	550	—	—	
増減率(%)	1.9	10.4	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	52,189	4,026	5,693	3,860	53.58

修正の理由

通期業績予想数値の修正

当連結会計年度第3四半期は、国内におきまして、前期までの大幅な設備投資抑制の反動を受けた一部顧客における設備投資の再開に加えて、主要販売先である外食産業以外の新規顧客の開拓を積極的に進めてまいりました。また今夏が過去最高の猛暑となった事に加えて、残暑が厳しかったことも追い風となり、主力製品を中心に販売が好調に推移いたしました。一方、海外におきましても、北米を中心に、需要回復が見られ、販売が好調に推移いたしました。

また、原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減への継続的な取組みに加えて、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上にも取組み、利益の捻出に努めてまいりました。

一方、第4四半期以降における当社グループを取巻く環境は、依然として不透明であり、楽観視できる状況ではありません。国内においては、外食産業の新規出店及び設備投資は本格的な回復に至っておりません。また海外においても、米国及び欧州の回復基調の継続については不確かさが残ります。

また、前回発表の予想では、業績の前提となる為替レートにつきまして、主な通貨において1米ドル=90円、1ユーロ=120円と想定しておりましたが、継続的な円高を受けまして、通期業績予想においては、1米ドル=82円、1ユーロ=115円へ修正しております。その結果、個別業績において、海外子会社への貸付金による為替差損818百万円を想定しております。なお、本為替差損は評価損であり、資金の流出を伴わない為替差損であるため、為替ヘッジは行っておりません。これらに伴い、通期の連結業績予想及び個別業績予想を修正いたします。

通期の連結業績予想は、売上高168,200百万円、営業利益12,400百万円、経常利益12,100百万円、当期純利益7,700百万円、個別業績予想は、売上高54,500百万円、営業利益5,850百万円、経常利益6,000百万円、当期純利益3,900百万円に修正いたします。

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実績の業績等が見通しの数値と異なることが有りますことをご承知おき下さい。

以上